

八峰コミスク通信

初夏を迎え、外での活動に最適な季節となりました。小・中学校では、地域の皆さんと連携した学習活動、協働活動がたくさん行われています。

地域と学校の連携・協働

地域の皆さんと学習した各校の活動を紹介します

八峰中学校

PTA親子協働環境整備作業(五月十九日)

日曜日の早朝に行われました。保護者、生徒、先生方を合わせて百名以上の皆さんで、校舎周辺、テニスコート周辺、グラウンドの草刈りや整備を行いました。



幼・中連携避難訓練(五月二十三日)

地震発生を想定した、春の避難訓練が行われました。校舎前の駐車場に第一次避難をしました。第二次避難では、峰栄館前で、峰浜ポンポコ子ども園の園児と合流し、ミニ公園へ一緒に避難しました。



三年生と、二年生の女子が、園児一人一人と手をつなぎ、避難場所へやさしく誘導していました。子ども園と中学校が連携した避難訓練を通して、中学生は、避難支援や共助について考えるよい機会になりました。

令和6年度
第4号
R6/6/14
CSディレクター
三浦

峰浜小学校

それぞれが持参したバケツに、十センチ程に成長した稚アユを入れてもらい、「大きくなれよ。」「元気でね。」「とやさしく言葉をかけながら放流しました。



四・五年生 アユの放流(五月二十九日)

ウトウ坂下近くの沢川で行いました。岩子桜の里の皆さん、県水産振興センター、町農林水産課の職員の皆さんが世話をしてくださいます。

三年生 梨の学習(五月二十九日)

カッチキ台の笠原果樹園で、梨の学習をしました。小さな果実がたくさん付いている梨の木から、大きな実を残す摘果作業について、笠原さんから説明してもらいました。三年生は、一面に広がった梨畑や梨の木を観察し、栽培の作業について、たくさん質問していました。七月には、袋かけ作業の体験をする予定です。



五年生 田植え体験(六月三日)

五年生十四名が、小手萩地区にある水田で、田植えを行いました。JA秋田やまもと青年部の皆さんがたくさん参加してくれて、体験のお世話をしてくださいます。部長の伊勢さんから、田植えの仕方を教えてもらった後、素足になつて水田に入り、テープで区切られたそれぞれ

八森小学校

サツマイモ苗植え(五月二十三日)

全校児童と八森子ども園の年長園児が、小学校の畑で、苗植えを行いました。活動には、JA婦人部の八名の皆さんが参加して、苗植えの手伝いをしてくださいます。

園児を含めた縦割り班で活動し、丁寧に苗を植え、持参したペットボトルで水かけをしました。五、六年生は、下級生や園児の手伝いにも一生懸命に取り組みました。



三年生 ジオパーク三森山(五月十八日)

ジオパークガイドの藤枝さんと鈴木さんのが、三年生を案内してくださいます。森林科学館では、白神山地の成り立ちや岩石について説明していただきました。三十釜への散策途中では、ぶなの葉の特徴や樹幹流、周辺の植物や、三十釜のポットホールなどについて、教えてもらいました。



四年生 水産教室(六月三日)

真瀬川で稚アユの放流を行いました。水産振興センターと、町農林水産課の職員の皆さんが、お世話をしてくださいます。四年生は、アユの稚魚をバケツに分けてもらい、一人一人が、丁寧に真瀬川に放流しました。放流体験の後、アユについての学習会が開かれました。

れに割り当てられた場所で田植えを行いました。